

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年4月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

熊本県の農業は全国第5位！

前回の統計アラカルトでは、椎茸(シイタケ)や筍(たけのこ)などのいわゆる特用林産物に関する統計について紹介を致しました。今回は、農業産出額から熊本・九州の状況を見てみたいと思います。

農林水産省の統計である生産農業所得統計(平成23年)によると、熊本県の農業産出額は、全国5位、他に九州でトップ10に入っている県は、鹿児島県(3位)、宮崎県(7位)となっております。

熊本県における産出額トップ3の農産物は、【1位】米(13.1%)【2位】トマト(10.5%)【3位】肉用牛(9.8%)の順となっており、これらを合わせると全体の約1/3(33.4%)を占めています。トマトは、全国一の出荷量を誇るなど有名ですが、産出額からみても熊本の主要な農産物であることが裏付けられていると言えます。

一方、鹿児島県・宮崎県については、以下のとおりいずれも肉類が上位を占めており、これら上位3項目でいずれも産出額の半数近くを占めています。

農産物産出額(全国10位以内の九州の県のみ掲載)

	熊 本			宮 崎			鹿 児 島		
	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比	農産物	産出額	構成比
		億円	%		億円	%		億円	%
		(全国			(全国			(全国	
	農業産出額	3,113	5位)	農業産出額	2,874	7位)	農業産出額	4,069	3位)
【第1位】	米	409	13.1	ブロイラー	486	16.9	肉用牛	820	20.2
【第2位】	トマト	326	10.5	肉用牛	448	15.6	豚	666	16.4
【第3位】	肉用牛	304	9.8	豚	370	12.9	ブロイラー	513	12.6
	合計	1,039	33.4	合計	1,304	45.4	合計	1,999	49.2

出典:平成23年生産農業所得統計(農林水産省)

次に特化係数という数値を使って見てみましょう。特化係数とは、ある地域等における産業等の構成比を集団全体(この場合は全国)の構成比で割ったものをいい、この係数が1よりも大きければ、当該部門のウェイトが全国値(構成比)に比べ大きい、つまり特化の度合いが強いことを意味し、全国との比較を行う場合によく使われる指標です。

$$\text{○(農業産出額)特化係数} = \frac{\text{都道府県別の部門別産出額}}{\text{都道府県別の農業産出額計}} \div \frac{\text{合計(全国)の部門別産出額}}{\text{合計(全国)の農業産出額計}}$$

たとえば、熊本県における肉用牛は、県の農業産出額の構成比の9.8%を占めています。同様に鹿児島県は20.2%、宮崎県は15.6%となっていますが、それだけでは全国的にみて高いのか低いのか分かりません。

そこで特化係数を見ると、全国の構成比と比較して高いのか低いのか分かります。例えば、肉用牛の特化係数は、熊本県1.62、鹿児島県3.34、宮崎県2.59と1を上回っており、いずれも全国に比べて高いですが、特に鹿児島県・宮崎県では高くなっていることが分かります。

その他の項目で特化係数が高いものを見ると、熊本県では工芸農産物が1.66と全国に比べて高くなっていますが、突出して高いものはなく全て2以下となっています。一方、鹿児島県・宮崎県では、鶏、その中でもブロイラーが鹿児島県3.68、宮崎県4.94と特に高くなっているのに対して、野菜・果実などは1を下回っています(熊本は野菜・果物いずれも1を超えています)。

農業産出額特化係数(主なもの)

都道府県	米	野菜	果実	工 芸 農作物	肉用牛	鶏	鶏 卵	ブロイラー
熊 本	0.59	1.34	1.16	1.66	1.62	0.64	0.46	0.64
宮 崎	0.35	0.94	0.59	0.98	2.59	2.33	0.55	4.94
鹿 児 島	0.27	0.49	0.25	3.09	3.34	2.07	1.18	3.68

出典：平成23年生産農業所得統計(農林水産省)

これらの結果を見ると、鹿児島県・宮崎県は特に肉類を中心とした農業であるのに対し、熊本県は幅広く農産物を、いわば万遍なく生産し、全体として産出額が大きくなっているとも言えそうです。

なお、熊本のお米は、産出額では全国17位ですが、2012年産米の食味ランキング(日本穀物検定協会)で、「森のくまさん」が全国128銘柄の最高得点を獲得して初のトップになり、他にも「ヒノヒカリ」・「くまさんの力」が最高位の品質である特Aランクに選ばれるなど全国的にも高い評価を受けております。

おいしいお米や様々な農産物に恵まれていることは、熊本県民にとって非常にありがたいことです。



熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、5月31日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県の子どもの割合は全国6位!



今月は、5月5日の「こどもの日」にちなんで、総務省より子どもの数について公表されましたので、子どもの数等を中心に見ていきたいと思います。

総務省によると、平成25年4月1日現在における日本の子どもの数(15歳未満)は、1,649万人と昭和57年から32年連続で減少となり、また、子どもの割合は12.9%と昭和50年から39年連続低下し、いずれも過去最低となりました。

熊本県の子どもの割合は13.7%で**全国第6位**となっております(平成24年10月1日時点)。

図1 都道府県別子どもの数及び割合(平成24年10月1日現在)

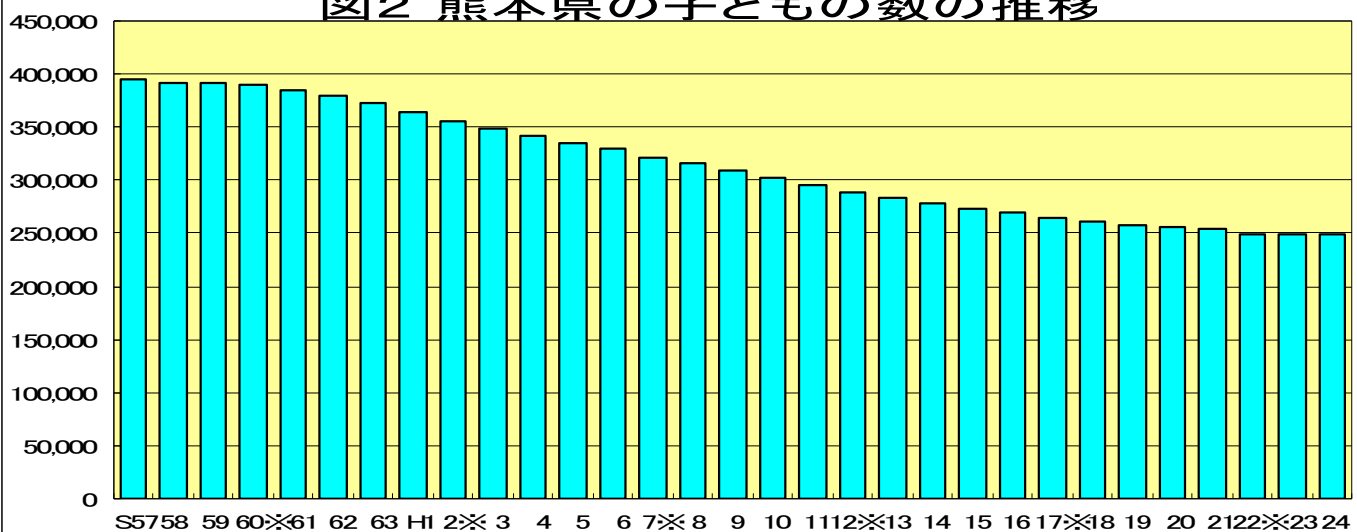
全国順位	都道府県	子どもの数 (千人)	割合 (%)
【第1位】	沖縄県	248	17.6
【第2位】	滋賀県	210	14.8
⋮	⋮	⋮	⋮
【第6位】	熊本県	247	13.7

【出典:平成25年5月4日付け総務省報道資料

統計トピックス No.70「我が国のこどもの数―「こどもの日」にちなんで―(「人口推計」から)】

次に、熊本県の子どもの数の推移(昭和57年以降)について見てみましょう。図2のとおり熊本県の子どもの数は、全国同様、減少傾向にあることが分かります。昭和57年では約39万人であったのが、平成24年には約25万人となり、約36%減少しています。

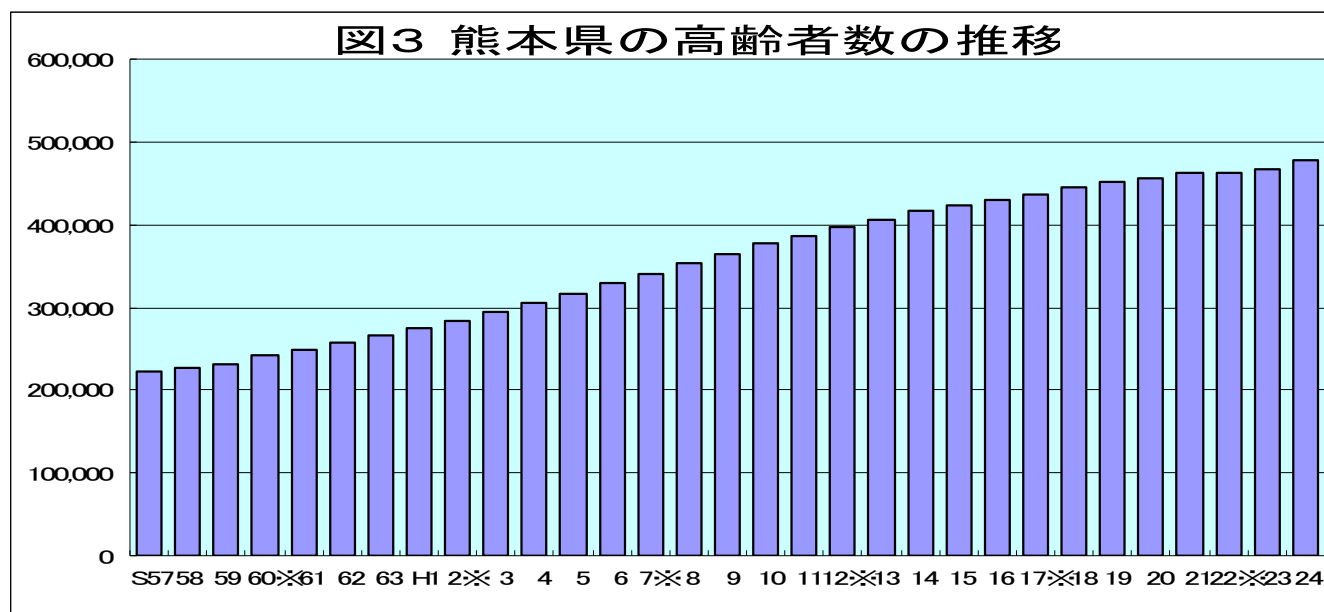
図2 熊本県の子どもの数の推移



注)※印は国勢調査の調査結果(S60、H2、H7、H12、H17、H22)、その他は推計人口

(出典:国勢調査及び熊本県推計人口調査)

今度は、熊本県の高齢者(65歳以上)の推移を見てみましょう。熊本県の高齢者数については、昭和57年に22万1千人であったのが、平成24年には47万7千人となり、約116%増加しています。



注)※印は国勢調査の調査結果(S60、H2、H7、H12、H17、H22)、その他は推計人口

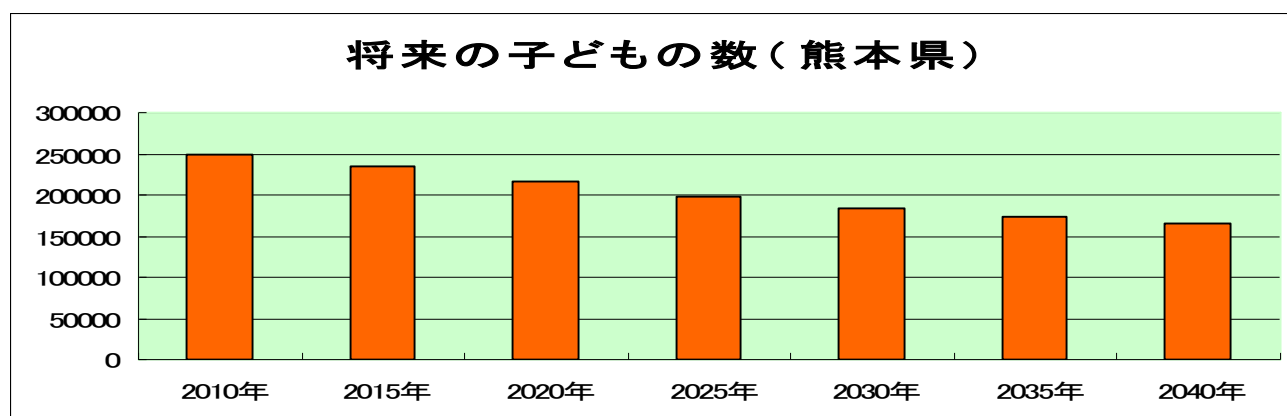
(出典:国勢調査及び熊本県推計人口調査)

また、熊本県の平均寿命は、平成22年都道府県別生命表(厚生労働省)によると、男性80.29歳・女性86.98であり、男女とも全国第4位となっています。

今後の人口がどうなるのか気になるところですが、将来の人口について、国立社会保障・人口問題研究所が2040年(平成52年)までの人口を予測しています。これによると、熊本県の人口は、2010年(平成22年)の181万7千人から2040年(平成52年)には146万7千人へ約19%減少すると予測しています。

また、熊本県の子どもの数(15歳未満)については、平成22年(2010年)の24万9千人から平成52年(2040年)には16万5千人へ約34%減少すると予測しています。

今後もしばらくは子どもの数の減少傾向が続きそうな状況です。



出典:日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)【国立社会保障・人口問題研究所】

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、6月28日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先:熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話:096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール:toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年6月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



熊本のアツい夏

梅雨の候。蒸し暑い日が続いています。

県外から熊本に赴任してきた人からよく言われる話「こんなに暑いとは思わなかった」・・・。

あまり、自慢できる話ではありませんが、今回は、こんなクマモトのアツい？一面にスポットを当ててみたいと思います。

気象庁ホームページの「気象統計情報」によると、昨年の熊本県(熊本地方气象台)の最高気温は36.5℃でした。ちなみに、同地点でもっとも暑かった気温は、38.8℃(1994年、1927年)でした。

全国では、40.9℃(埼玉県熊谷2007年、岐阜県多治見2007年)が最高で、以下、40.8℃(山形県山形1933年、40.6℃(和歌山県かつらぎ1994年、静岡県天竜1994年)、・・・と続き、熊本は20位以内にすら入っていません。

最高気温の高い方から					
順位	都道府県	観測所	観測値		現在観測を実施
			℃	起日	
1	埼玉県	熊谷 *	40.9	2007年8月16日	○
2	岐阜県	多治見	40.9	2007年8月16日	○
3	山形県	山形 *	40.8	1933年7月25日	○
4	和歌山県	かつらぎ	40.6	1994年8月8日	○
5	静岡県	天竜	40.6	1994年8月4日	○
6	埼玉県	越谷	40.4	2007年8月16日	○
7	山梨県	甲府 *	40.4	2004年7月21日	○
8	群馬県	館林	40.3	2007年8月16日	○
9	群馬県	上里見	40.3	1998年7月4日	○
10	愛知県	愛西	40.3	1994年8月5日	○
11	千葉県	牛久	40.2	2004年7月20日	○
12	静岡県	佐久間	40.2	2001年7月24日	○
13	愛媛県	宇和島 *	40.2	1927年7月22日	○
14	山形県	酒田 *	40.1	1978年8月3日	○
15	岐阜県	美濃	40	2007年8月16日	○
16	群馬県	前橋 *	40	2001年7月24日	○
17	埼玉県	鳩山	39.9	1997年7月5日	○
18	大阪府	豊中	39.9	1994年8月8日	○
19	山梨県	大月	39.9	1990年7月19日	○
20	山形県	鶴岡	39.9	1978年8月3日	○
21	愛知県	名古屋 *	39.9	1942年8月2日	○

気象庁ホームページ「気象統計情報」から

「意外と熊本は暑くないんですね。」と言われそうですが、いやいや、そんなはずはない・・・とい

うことで、当ホームページに掲載している「熊本くらしの指標１００」をのぞいてみると次のようなデータがありました。

「熊本くらしの指標１００」の「３ 気温」の中に、「最高気温（日最高気温の月平均のうち最高値）」というものがあります。これは、「毎日の最高気温を１か月平均し、その平均値のうち、年間の中で最も高い月の値」で、「暑い夏」を示す指標値とも受け取れます。

H24(2012)年の熊本県は33.7℃、全国で14位となっています。
さらに、H19(2007)年～H23(2011)年の6年間をみると、いずれも一ケタの順位です。
H19(2007)年とH21(2009)年は、何と、全国1位となっています。

熊本県の最高気温(日最高気温の月平均のうち最高値)の状況

年	H19(2007)	H20(2008)	H21(2009)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)
最高気温(℃)	34.8	34.0	33.8	34.8	32.8	33.7
全国順位	1	2	1	6	7	14

熊本県ホームページ「熊本くらしの指標１００」の「３ 気温」のデータを元にして作成

注) このデータも気象庁の「気象統計情報」を元に作成されています。H23年は気象庁「気象統計情報」のデータを使用しました。

昭和の時代を知る筆者としては、昔はこんなに暑くなかったのでは？と感じています。
エアコンがなかった時代でしたが、そんなに寝苦しかったという記憶はありません。

そこで、気象庁ホームページ「気象統計情報」のデータから、熊本市の6～9月にかけてのS47(1972)年、H4(1992)年、H24(2012)年の真夏日、猛暑日、熱帯夜が何日間あったのかを比べてみました。

熊本市の6月～9月における真夏日、猛暑日、熱帯夜の状況

年	S47(1972)	H4(1992)	H24(2012)
真夏日(日)	52	60	56
猛暑日(日)	0	1	11
熱帯夜(日)	4	15	35

★猛暑日、真夏日とは、一日の最高気温がそれぞれ摂氏35℃以上、30℃以上になる日のこと

★熱帯夜とは、夕方から翌日の朝までの最低気温が摂氏25℃以上になる夜のこと

気象庁ホームページ「気象統計情報」のデータを元にして作成

熊本のアツさは、この数十年で確実に度を増しているようです。

これから本格的な夏を迎えますが、今年はどのくらい暑くなるのでしょうか？ (汗)

【参考情報】

●気象庁ホームページ「気象統計情報」の過去の気象データ検索

<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、7月26日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年7月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



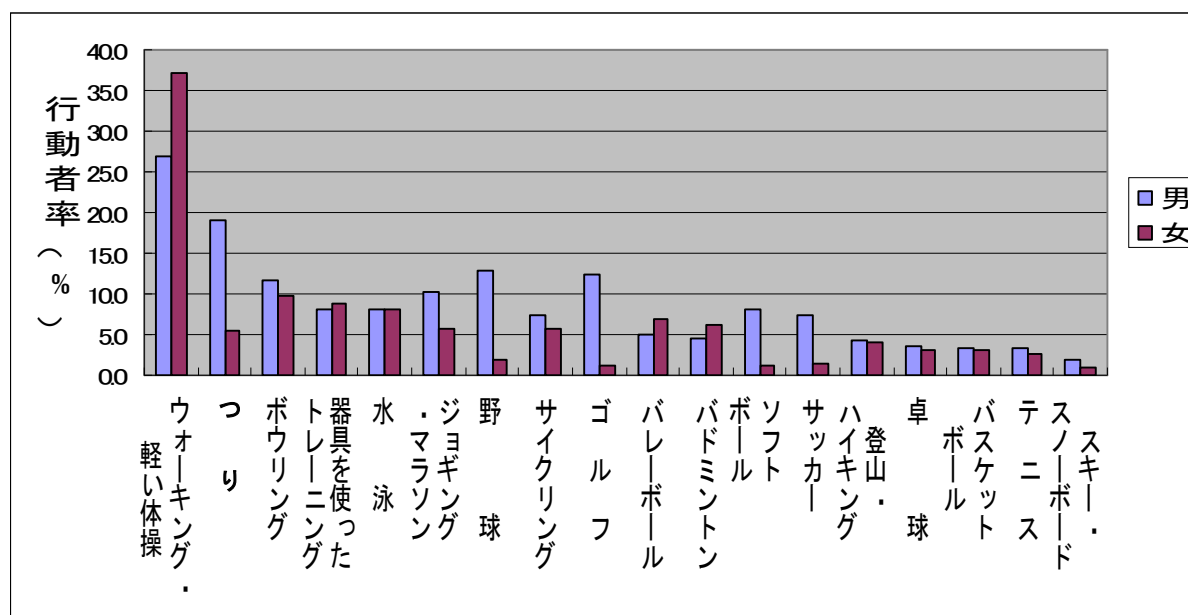
貴女は釣りガール？山ガール？



連日、うだるような暑さが続いています。夏といえば『甲子園』。毎年、暑さに負けずに熱戦が繰り広げられていますが、今年はJリーグ発足から20周年でもあります。そこで、平成23年「社会生活基本調査」（総務省）から、熊本県民のスポーツ事情を見てみましょう。

【熊本県民の「スポーツ」の種類・男女別行動者率】

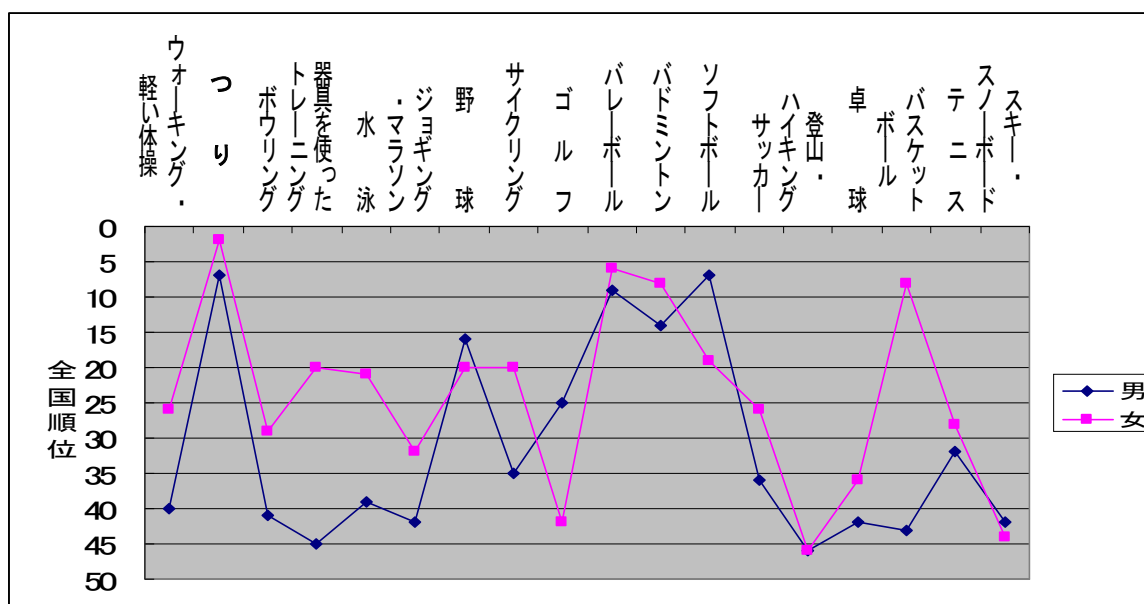
（単位：％）



※行動者率・・・10歳以上人口に占める行動者数(過去1年間に該当する種類の活動を行った人の数)の割合(％)

これを見ると、ウォーキング・軽い体操が男女とも最も高い行動者率となっており、次いで男性が釣り、女性がボウリングとなっています。この調査時点では、熊本城マラソンがまだ行われる前ですので、現在ではジョギング・マラソンがもっと高くなっているかもしれません。

次に、熊本県におけるこれらのスポーツの行動者率が全国でどのくらいの順位なのかを示したのが次のグラフです。

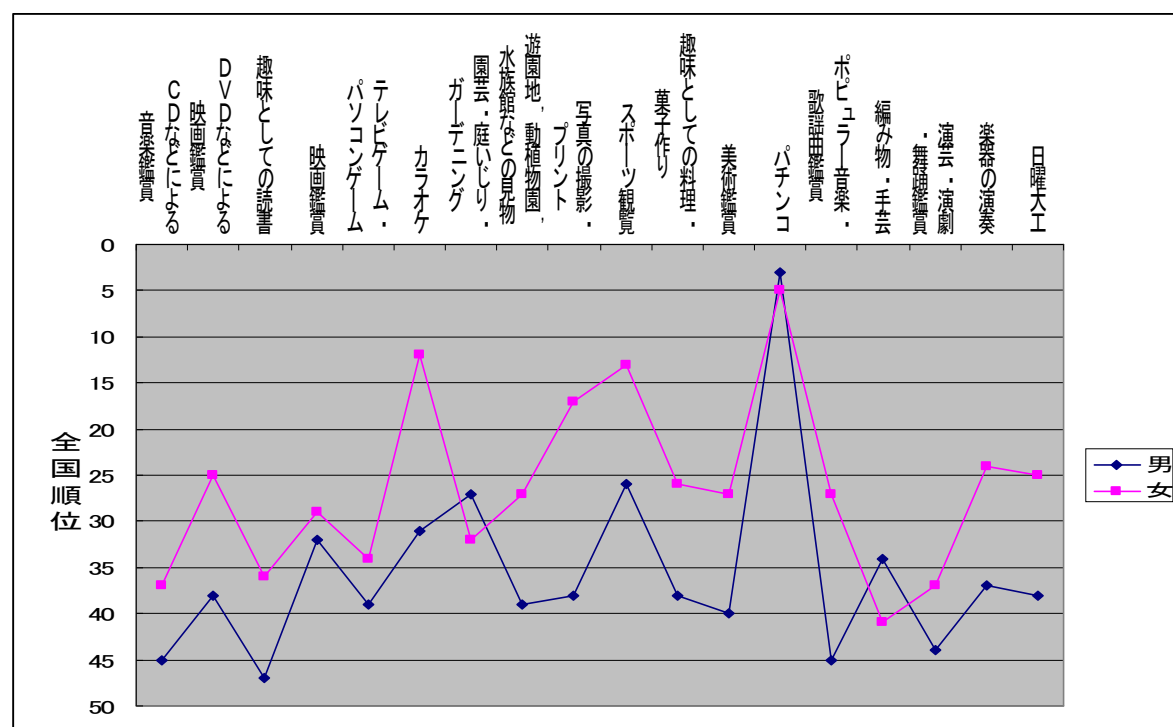
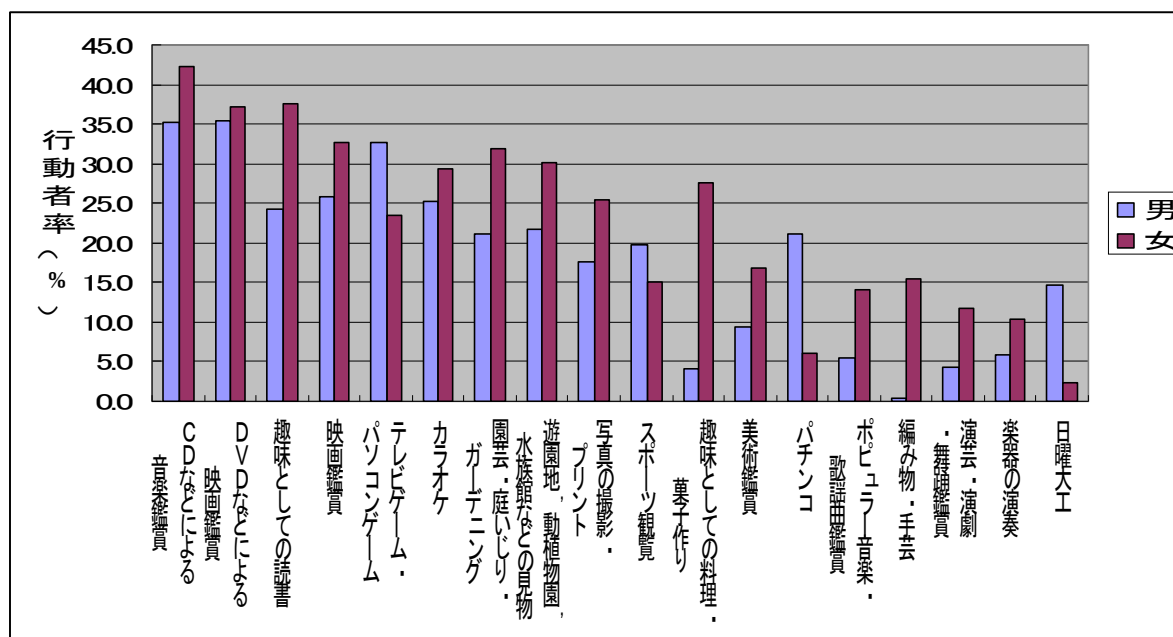


つりは男性7位、女性2位となっており、熊本には「釣りガール」が多いようです。反対に、「登山・ハイキング」は男女とも46位であり、「山ガール」は少ないようです。山と海双方とも恵まれた自然環境を持つ熊本県ですが、少々意外な結果かもしれません。

男女差が最も表れたのが、バスケットボールで女性が8位なのに対し、男性は43位とかなりの差がついています。

社会生活基本調査では、このほかに趣味・娯楽についても調査を行っていますので、御覧ください。

【熊本県民の「趣味・娯楽」の種類・男女別行動者率】 (単位：％)



行動者率では、音楽鑑賞や映画鑑賞が高くなっており、総じて男性よりも女性のほうが積極的に行動しているようです。

また、全国における順位については、全体的に低めの傾向ですが、唯一トップ10入りを果たしているのが、「パチンコ」で、男性3位、女性も5位とパチンコ好きの県民性がデータにも現れています。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、8月30日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年8月30日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

住まいの様子



「日本中には、いくつの家（住宅）があるのだろう？」「持ち家が多いかな？いやいや借家かな？」「最近空き家増えた？」等、住宅に関して疑問に思ったことはありませんが？

ここ数年県内では、〇〇タウンや〇〇の森など、新興住宅地があちらこちらに増えてきましたが、実際のところ、「熊本の住宅事情」はどのように変化しているのでしょうか。

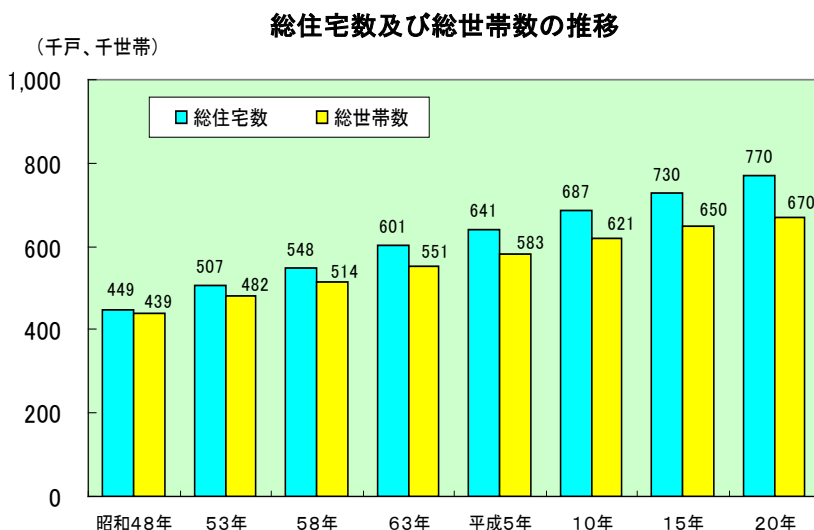
右の「総住宅数及び総世帯数の推移」のグラフをご覧ください。

「住宅・土地統計調査」（総務省）の結果から、熊本県内の住宅数の推移を見てみましょう。

近年においては、核家族化が進み1世帯当たりの人員が平成20年には2.55人となりました。

その結果、総世帯数が増加することに伴って、総住宅数も右上がりには伸びています。

昭和48年の総住宅数は約449千戸です。その後の35年間で約1.7倍に増えたことになります。



(出典：住宅・土地統計調査【総務省】)

それでは次に、「住宅の所有の割合」を見てみましょう。

右の円グラフをご覧ください。

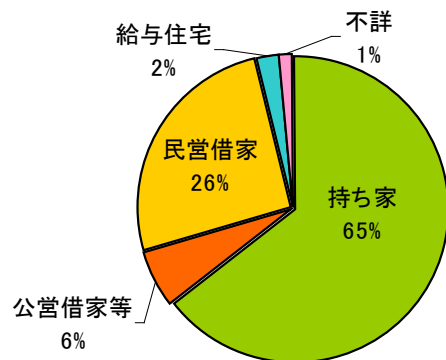
総住宅数のうち「居住世帯あり」の住宅は663,800戸となり、その内訳は、持ち家426,800戸、借家227,800戸で、およそ65%の住宅が持ち家であるということが分かります。

また、「住宅・土地統計調査」の「家計主の年齢階級別持ち家率」によると、30歳代で住宅の取得が盛んになり、65歳以上では、8割以上が持ち家を取得しているという結果が出ています。

今年は、「住宅・土地統計調査」が行われます。熊本県では、9月頃から調査員が皆さまのお宅を訪問させて頂き調査を行う予定です。

「住宅・土地統計調査」への皆様のご協力を宜しくお願い致します。

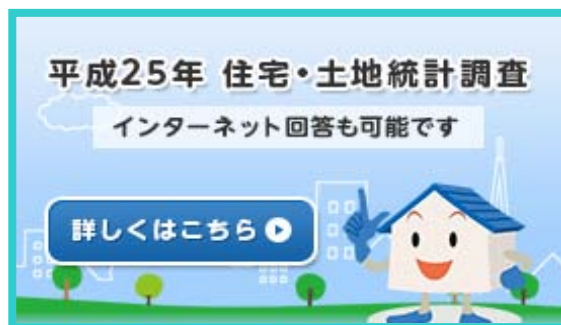
住宅の所有の割合(平成20年)



(出典：平成20年住宅・土地統計調査)

10月1日現在で

平成25年住宅・土地統計調査を実施します



← 画像をクリックすると、キャンペーンサイトへリンクします



住宅・土地統計調査はこんな調査です

昭和23年から5年ごとに行われ、今年は14回目の調査になります。

この調査は、全国で350万世帯、熊本県内では5万5千世帯の方々を対象とした大規模な調査で、調査の結果は、国や地方公共団体における「住生活基本計画」の成果指標の設定、耐震や防災を中心とした都市計画の策定、空き家対策の条例の制定などに幅広く利用されています。

また、今回の調査は、東日本大震災後、最初の調査となることを踏まえ、東日本大震災による転居や改修工事に関する実態を把握することとしています。



調査員が参りましたら、ご協力をお願いします

調査実施に先立ち、知事が任命した調査員が9月以降、調査対象となる地域に居住している世帯にリーフレットを配布します（調査員は「調査員証」を必ず携帯しています）。その後、選定された世帯に、調査票への記入のお願いや記入状況の確認及び回収に再度伺うことになります。



個人の情報は守られます

統計法では、調査対象者が安心して調査票に記入いただけるよう、調査員を始めとする調査関係者に対して、調査票の記入内容を厳重に保護することを定めています。

総務省統計局  熊本県・市町村

総務省統計局

検索 



<http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2013/index.htm>

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、9月27日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年9月27日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

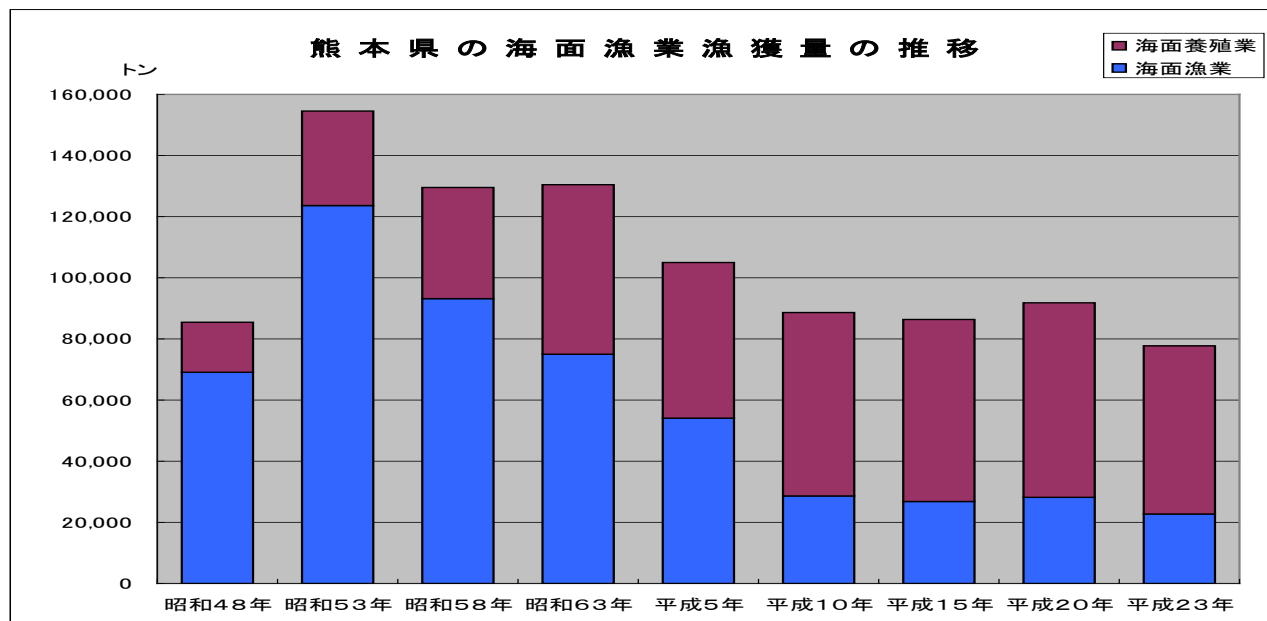
魚は好きですか、嫌いですか？

熊本県は、日本最大の干潟を有する有明海、内湾で東シナ海に湾口を開く八代海、対馬暖流の影響を強く受ける魚の宝庫天草灘の3つの海域に面し、それぞれの漁場に様々な漁業が行われています。

しかし、近年、日本人の魚離れが言われており、魚介類の消費量を平成23年国民健康・栄養調査報告（厚生労働省）で見ると、1日1人あたり73gとなっており、一方、肉類は84gで魚介類より多くなっています。また、漁場環境の変化や水産資源の減少、赤潮による被害発生など漁業を取り巻く環境は厳しい状況になっています。

このような中、本県では、「育もう命かがやく故郷の海」をテーマに第33回全国豊かな海づくり大会が10月26日から27日にかけて開催され、式典行事や大会史上初めてとなる3会場（エコパーク水俣、熊本港、牛深漁港）で稚魚等の放流行事が行われます。

そこで、本県の海面漁業状況を「漁業・養殖業生産統計年報」（農林水産省）から見てみましょう。



海面漁業の漁獲量は、昭和50年代から平成10年頃に急激に減少し、そのかわり海面養殖業は増加しており、ここ10年ほどは落ちついていました。

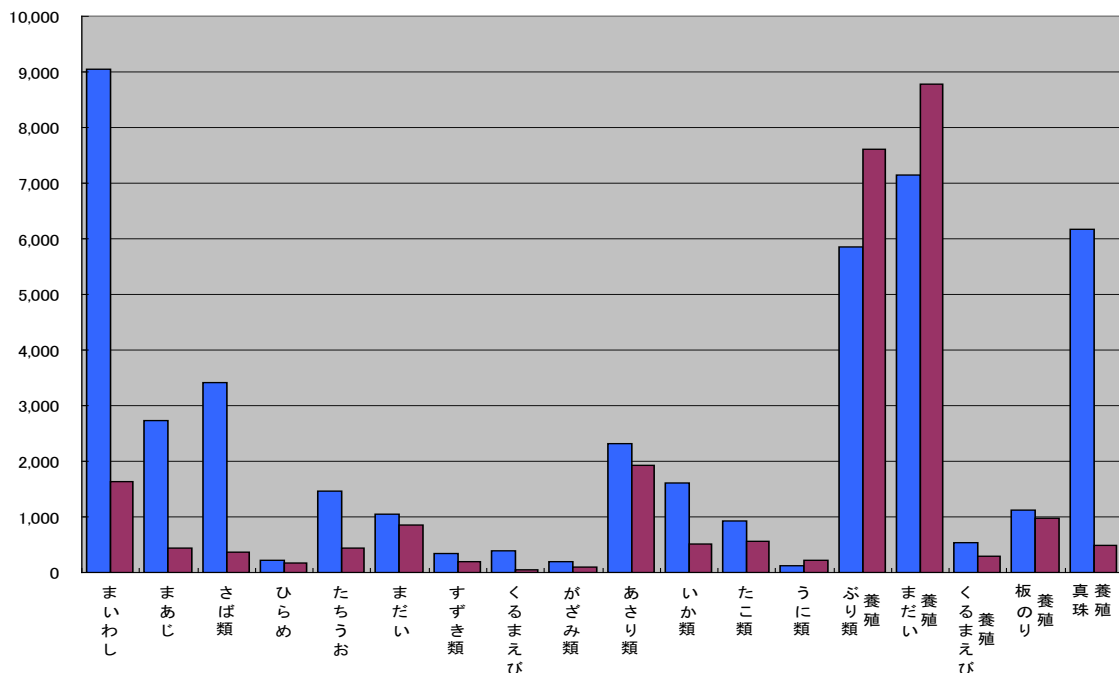
では、主な魚種別の漁獲量の変化を平成3年と平成23年で比べて見ましょう。

次のグラフのとおり「いわし」は、9,046tから1,644tと約6分の1に、「さば類」は、3,420tから363トンと約9分の1に、「まあじ」は、2,730tから434tと約6分の1になっており、養殖の「ぶり類」、「まだい」が増加しているのを除き減少しています。

このような漁業の現状を的確に把握するため、今年は、漁業の国勢調査といわれる漁業センサスが実施されます。

熊本県の主要魚種別生産量（平成3年、平成23年）

トン（のり百万枚・真珠kg）

■平成3年
■平成23年

漁業センサス

2013年漁業センサス を実施します

日本の水産行政施策の推進のために役立てることを目的とした統計調査です。

日本の漁業の生産や就業の状況、漁村や水産物の流通・加工業の実態を把握します。

5年ごとに水産業を営んでいる全ての世帯や法人を対象に全国一斉の調査を実施します。

調査は、平成25年11月1日現在（流通加工調査は平成26年1月1日現在）で実施します。

10月下旬から11月上旬に水産業を営んでいる全ての世帯や法人に、調査員が訪問し、調査票の記入のお願いや記入状況の確認及び調査票の回収を行います。

調査員は、「統計調査員証」を必ず携帯しており、厳格な守秘義務が課されています。

また、調査した内容は、統計法によって厳重に保護されており、統計の作成や他の統計調査に係る名簿作成以外の目的には使用しませんので、ご安心ください。



画像をクリックすると農林水産省の漁業センサスのページにリンクします。

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、10月25日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年10月25日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



熊本県の林業(木材生産)は全国第3位！

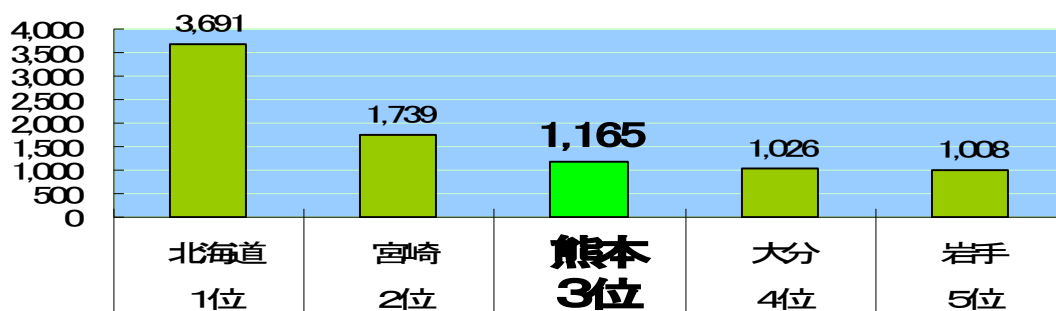


平成25年4月の統計アラカルトでは、「生産農業所得統計」から熊本県の農業の状況をご紹介しましたが、今回は「生産林業所得統計」から**熊本県の林業**の状況を見ていきたいと思います。

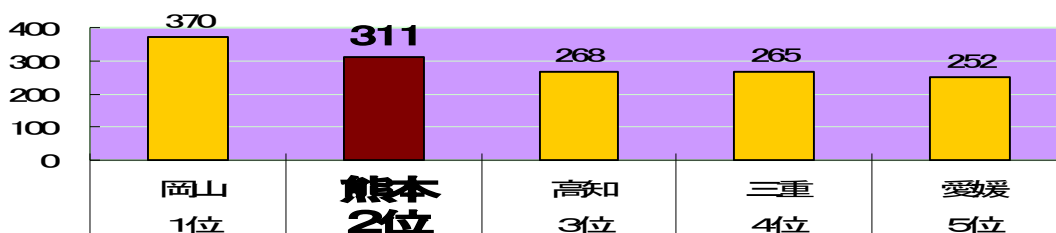
農林水産省の統計である「生産林業所得統計」(平成23年)によると、**熊本県の林業産出額(木材生産)は全国3位です**。他に九州でトップ5に入っている県は、宮崎県(2位)、大分県(4位)です。

熊本県における産出額の大きな木材は、【1位】「すぎ」(70.6%)、【2位】「ひのき」(26.7%)の順となっており、これらを合わせると熊本県の産出額の全体の約97%を占めています。そして、**熊本県の「ひのき」の生産額は全国第2位、「すぎ」の生産額は全国第3位と全国トップクラス**になっています。

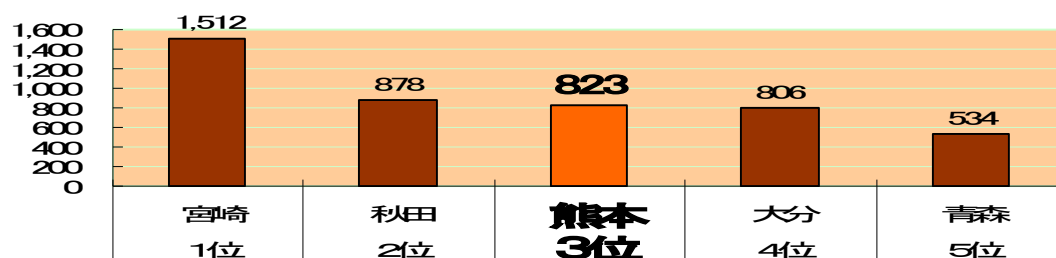
単位:千万円 (H23) 林業算出額(木材生産)



単位:千万円 (H23) ひのき(産出額)

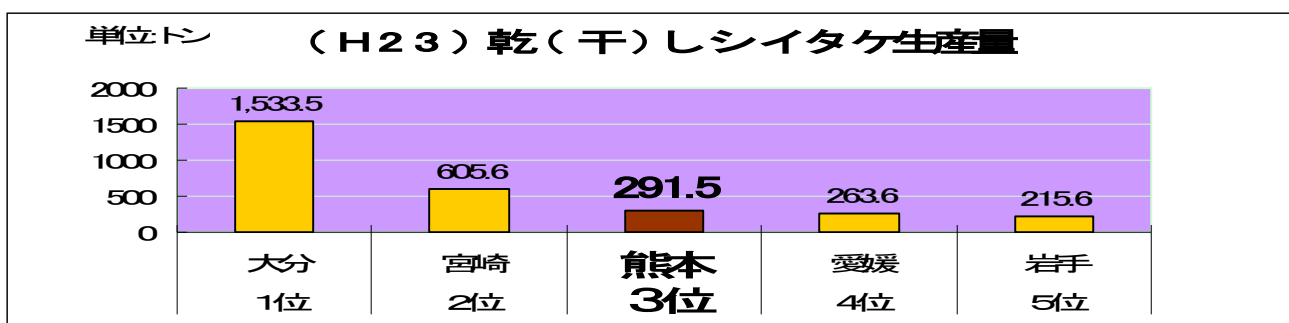
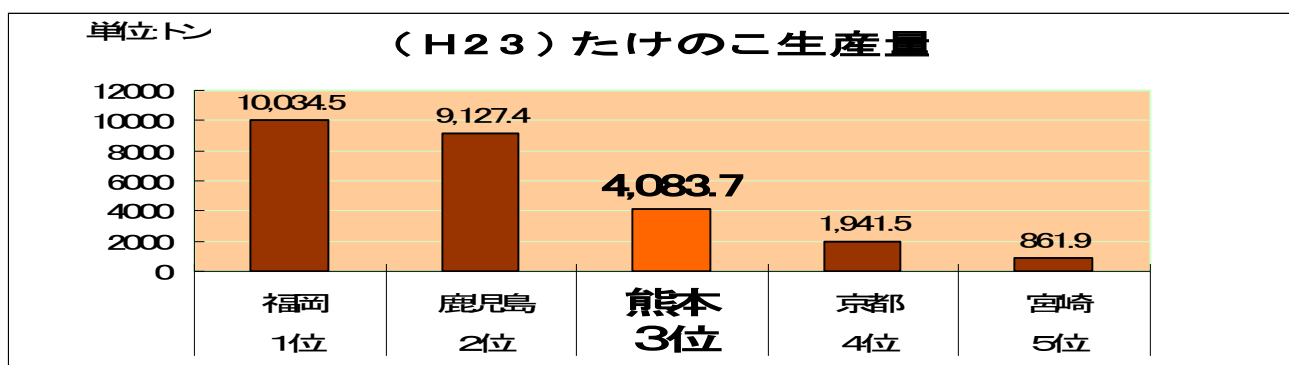
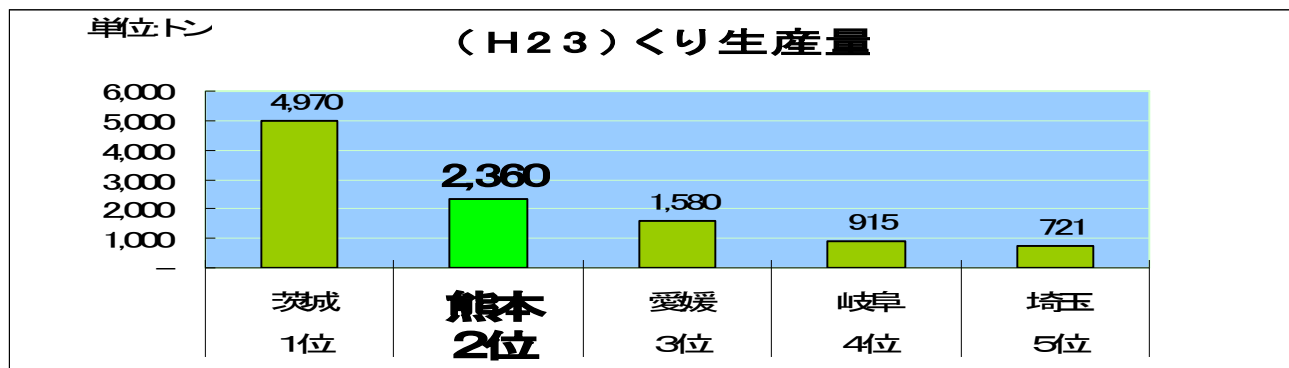


単位:千万円 (H23)すぎ(産出額)



出典:平成23年生産林業所得統計(農林水産省)

次に、特用林産物(主に森林や原野などで生産される林産物(木材を除く)の総称)について見てみましょう。熊本県の特用林産物の主なものは、「くり」の生産量が2,360トンで全国2位、「たけのこ」の生産量が4,083.7トンで全国第3位、「乾(干)しシイタケ」の生産量が291.5トンで全国第3位となっています。



出典:平成23年特用林産物生産統計調査(農林水産省)

熊本県は、農業のみならず、森林資源も豊富なことが分かりますね。

これから本格的な秋が深まると秋の味覚「くり」がますますおいしくなってきますが、今年も熊本の特産であるおいしい「くり」で秋を満喫してはいかがでしょうか？



熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、11月29日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年11月29日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

アベノミクス効果！景気は良くなった？



最近、アベノミクス効果で、「景気が良くなった。」という会話を耳にすることもあるかと思います。
では、そもそも、景気とはどのようなものなのでしょうか？

景気とは、元々、中世において、景色・雰囲気などの意味合いを込めて使われてきたものですが、現在では、売買や取引などの「経済活動全般の動向」として使われています。また、併せて世間一般の社会的心理を含めて捉えるケースも多くなっています。

ところで、経済は様々な要因により変動します。例えば、ビールの売上は夏場に多くなります。これは「季節変動」と呼ばれます。

季節変動が1年を周期として起きるのに対して、数年を周期として起きる変動が「景気変動」です。景気変動は、経済社会の活動が活発になり、人手不足が生じるような時期（拡張期）と経済社会の活動が停滞し、失業が増加するような時期（後退期）がみられます。拡張期と後退期が交互に表れ、数年を周期として繰り返すので、景気循環（Business Cycle）とも呼ばれます。

景気循環の中で、景気が拡張期から後退期に変化するときを「景気の山」、景気が後退期から拡張期に変化するときを「景気の谷」と言います。

ここ50年の景気循環を表したものが以下の表です。

（参考）国及び熊本県の景気基準日付の比較

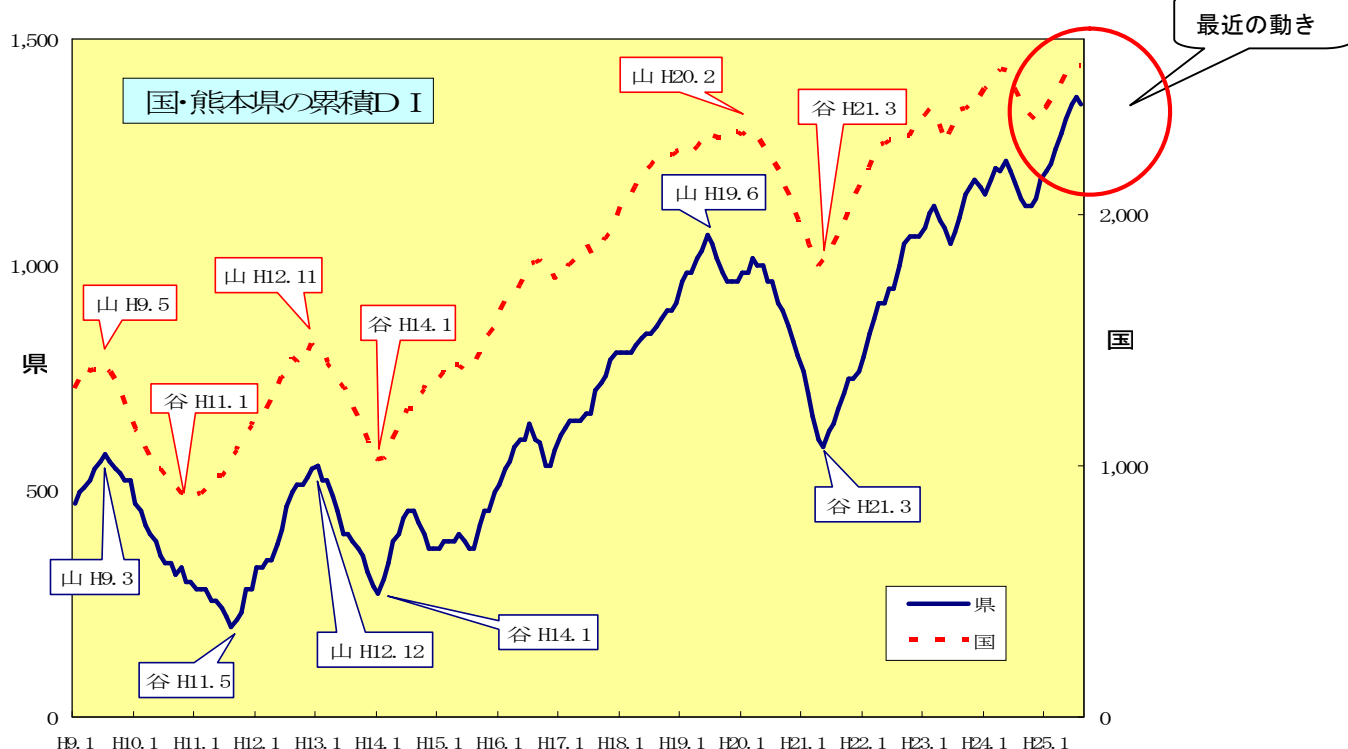
景気循環	国					熊 本 県				
	谷	山	谷	期 間		谷	山	谷	期 間	
				拡張	後退				拡張	後退
第5循環	S37. 10	S39. 10	S40. 10	か月 24	か月 12	S37. 9	S39. 9	S40. 8	か月 24	か月 11
第6循環	S40. 10	S45. 7	S46. 12	57	17	S40. 8	S44. 10	S46. 2	50	16
第7循環	S46. 12	S48. 11	S50. 3	23	16	S46. 2	S49. 1	S50. 2	35	13
第8循環	S50. 3	S52. 1	S52. 10	22	9	S50. 2	S51. 9	S52. 7	19	10
第9循環	S52. 10	S55. 2	S58. 2	28	36	S52. 7	S55. 2	S58. 4	31	38
第10循環	S58. 2	S60. 6	S61. 11	28	17	S58. 4	S59. 12	S62. 3	20	27
第11循環	S61. 11	H3. 2	H5. 10	51	32	S62. 3	H3. 3	H5. 12	48	33
第12循環	H5. 10	H9. 5	H11. 1	43	20	H5. 12	H9. 3	H11. 5	39	26
第13循環	H11. 1	H12. 11	H14. 1	22	14	H11. 5	H12. 12	H14. 1	19	13
第14循環	H14. 1	H20. 2	H21. 3	73	13	H14. 1	H19. 6	H21. 3	65	21
平均				37. 1	18. 6				35. 0	20. 8

直近の第14循環では、拡張期が戦後最長の拡張期間だったことから「いざなぎ景気」と、後退期をリーマンショックをきっかけとしたことから「世界同時不況」と呼ばれています。

国や各都道府県では、景気循環をとらえるために、生産、雇用など景気変動に関係する分野の代表的な指標をもとに景気動向指数を作成しています。景気の現状把握や将来予測に役立つものです。

下の図は、景気動向指数をもとに、景気の動きを表したものです。国の景気の山・谷と熊本県の景気の山・谷は、おおむね一致していることがわかります。（累積DIのグラフの高さは、景気の良し悪しを示すものではありません。）

また、最近では、景気は拡張局面にあることが推測されます。アベノミクスの効果でしょうか？



※毎月作成しているDIの月々の値を積み上げたものを累積DIといいます。
累積DIは、そのグラフが描く山・谷が景気の山・谷と概ね対応しているため、景気転換点を容易にとらえることができます。

熊本県では、おおむね毎月末に、景気動向指数を熊本県ホームページに公表しています。

景気の動向を見てください！ (<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/doukou.html>)

※内閣府経済社会総合研究所の資料を参考に作成しております。

内閣府 景気動向指数ホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.html

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、12月27日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成25年12月27日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

気象統計と太陽光発電

再生可能エネルギーが脚光を浴び、風力発電や地熱発電が注目されていますが、身近で特に注目されているのが太陽光発電です。

最近、太陽光発電に用いるソーラーパネルは県内各地で見かけられるようになりました。

今回は、気象統計でとらえた「日照時間」と太陽光発電の発電量に着目して統計結果をまとめました。

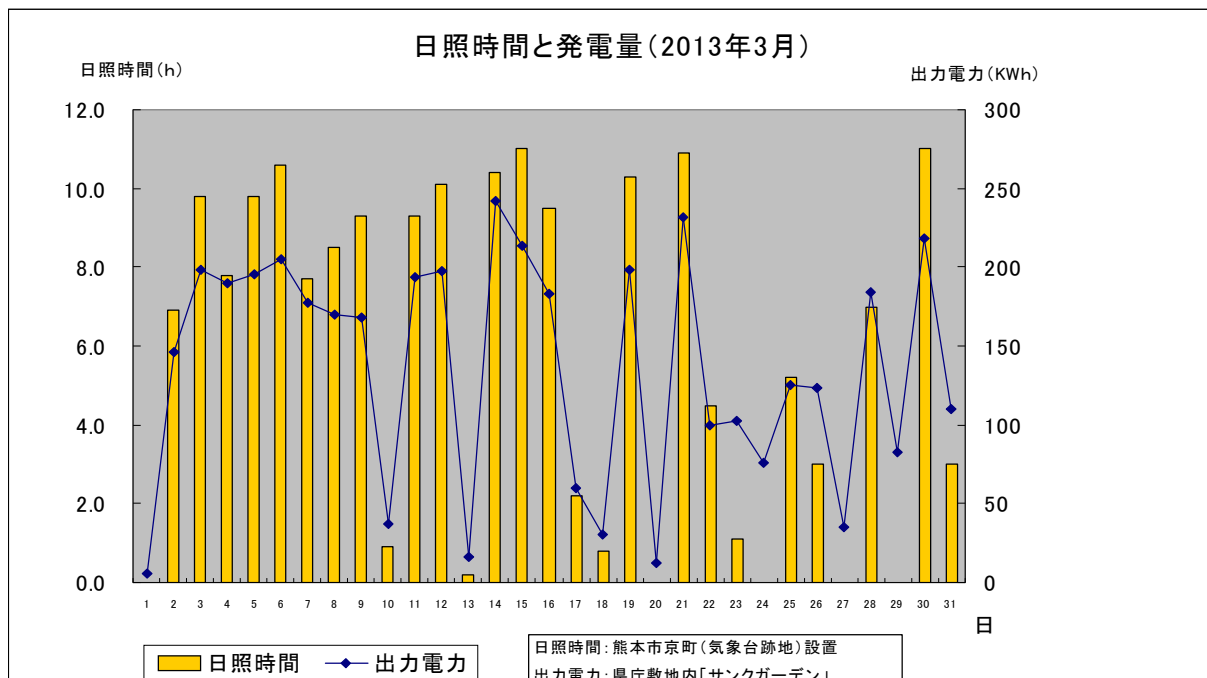
◎日照時間と発電量

発電量は日照時間、太陽光の入射角、ときには「積雪」や「降灰（火山灰）」にも影響されます。その中でも日照時間は発電量を大きく左右する重要な要素です。

日照時間（熊本市京町設置）と発電量（県庁設置）についてグラフに重ねてみましたが強い相関関係がみられます。《下記グラフ：本年3月中の日照時間と発電量》



県庁内発電施設

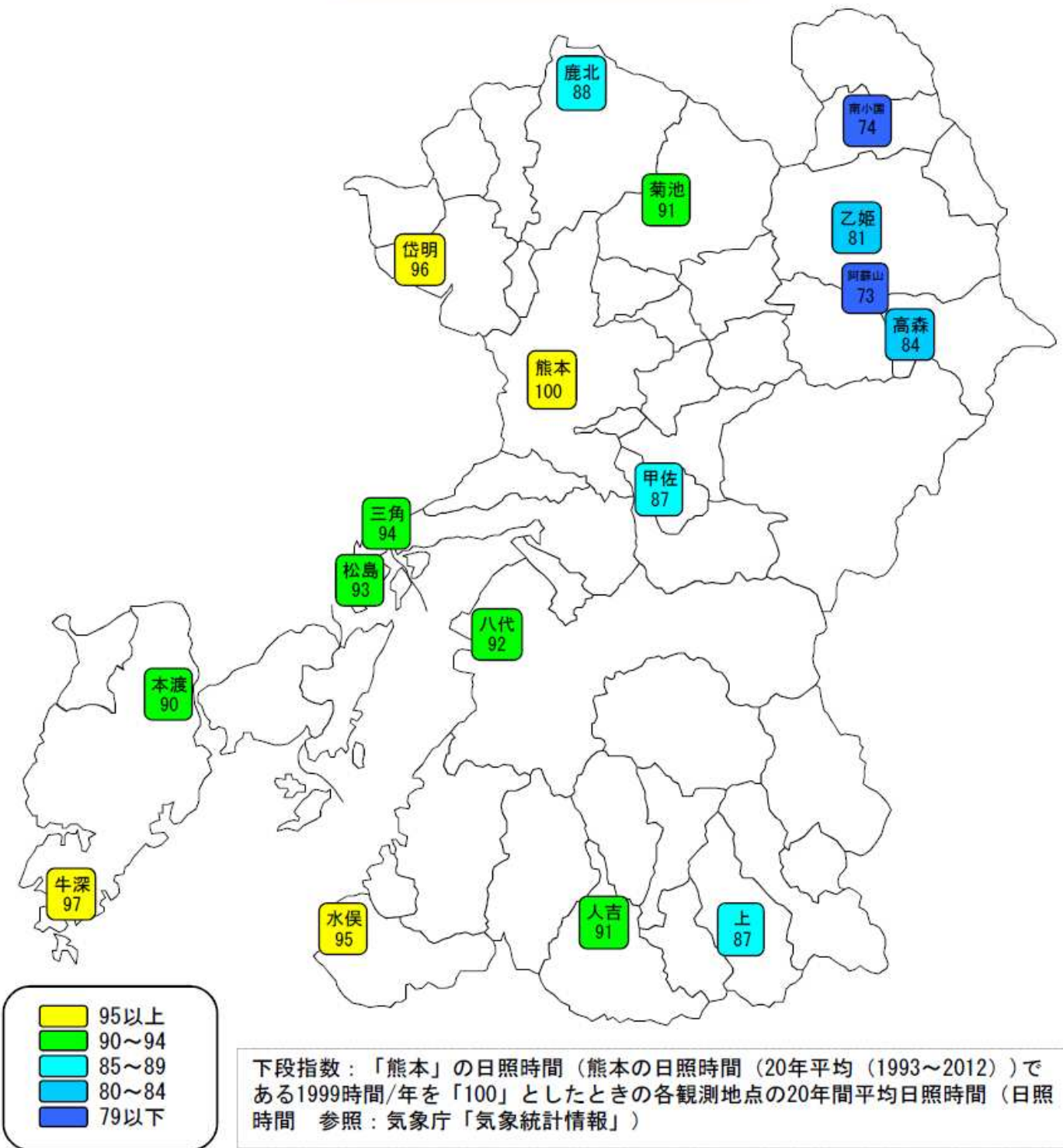


◎日照時間の地域特性

日照時間は地域（地形）により大きな差があります。熊本県内でも地域により日照時間は25%以上も異なり、発電量も場所により大きく差がでることが予想されます。

気象庁が公表している気象統計の数値を地図に示したものが下記のとおりです。

熊本県日照時間比較図



熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、1月31日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年1月31日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



熊本県の養殖漁業の生産額は全国第4位！

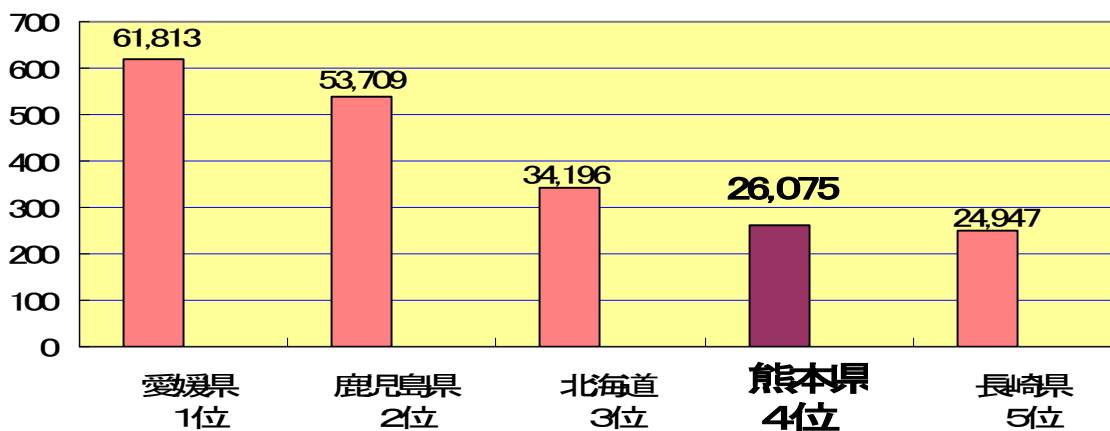
平成25年10月の統計アラカルトでは、熊本県の林業の状況をご紹介しましたが、今回は「漁業生産額」（農林水産省）から**熊本県の養殖漁業**の状況を見ていきたいと思います。

農林水産省の統計である「漁業生産額」（平成23年）によると、**熊本県の（海面）養殖漁業の生産額（魚類・貝類・海藻類等）は、260.7億円で全国4位**です。他に九州でトップ5に入っている県は、鹿児島県（2位）、長崎県（5位）です。

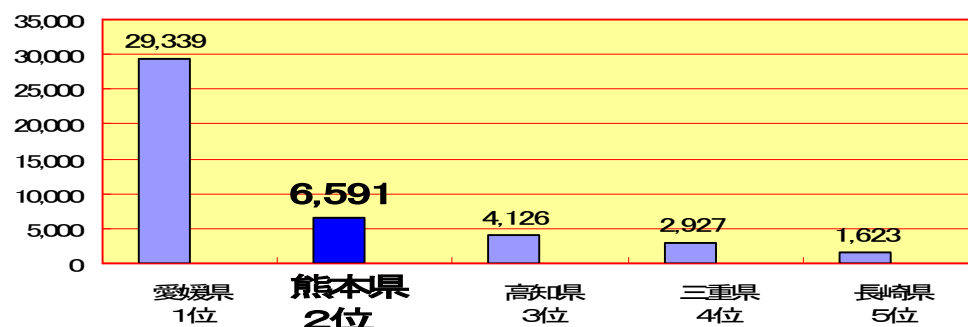
このうち、「まだい」・「ふぐ」は【全国2位】、「くるまえばい」は【全国3位】、「のり」・「真珠」は【全国4位】、「ぶり」は【全国6位】と全国上位を占めています。

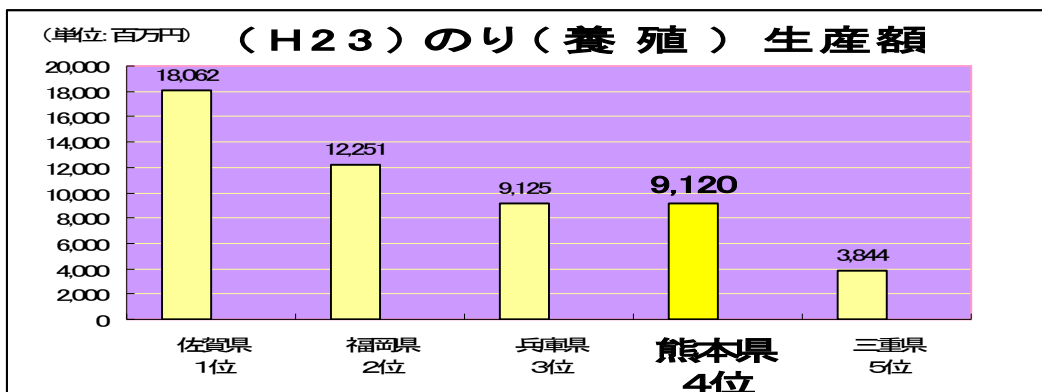
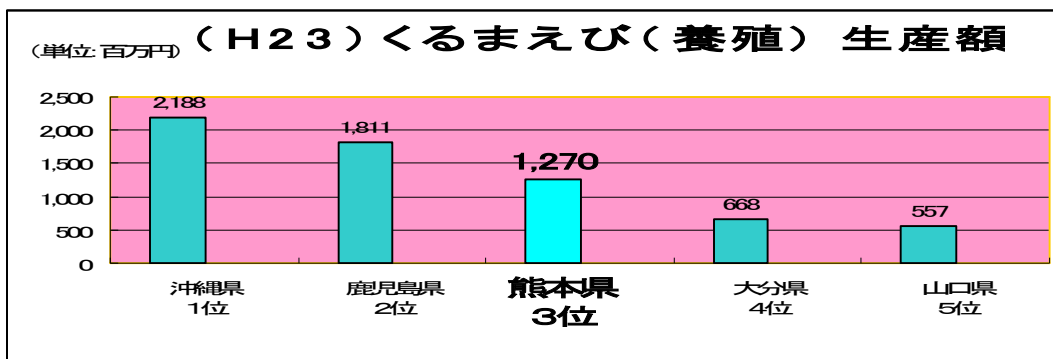
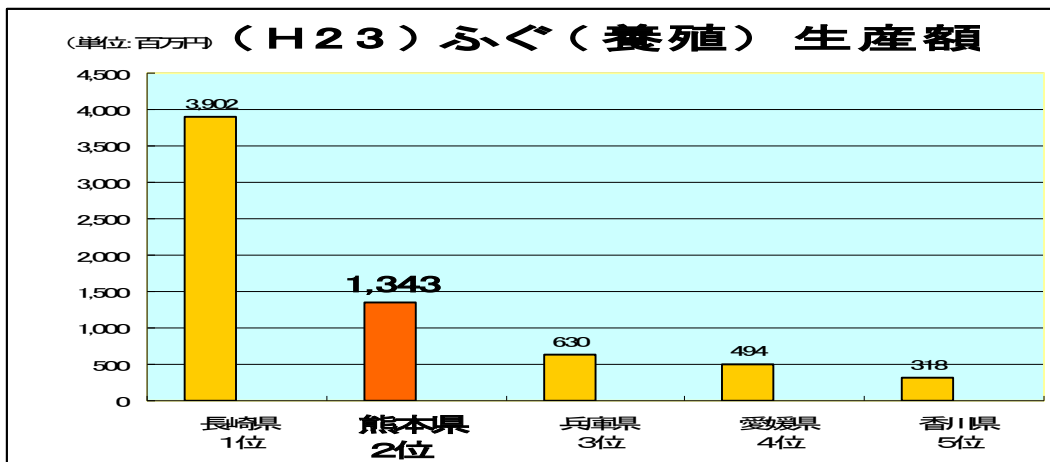
なお、県内における生産額の内訳は、トップは「のり」35.0%（91.2億円）、続いて「まだい」（25.3%）、「ぶり」（21.9%）、「ふぐ」（5.2%）、「くるまえばい」（4.9%）の順となっています。

（単位：百万円）（H23）養殖漁業生産額（海面養殖業）



（単位：百万円）（H23）まだい（養殖）生産額





出典:平成23年漁業生産額(農林水産省)

熊本県は、魚が豊富なことが分かりますね。まだまだ寒い日が続きますが、熊本のおいしい冬の魚(まだい、ぶり、ふぐ、車えびなど)を食べて寒い冬を乗り切りましょう。



熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、2月28日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先:熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話:096-333-2174 / Fax:096-384-7544 / メール:toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年2月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

熊本の経済、そして 日本経済の「今」を知るために

皆さん、熊本県内には、いくつの事業所があるかご存知ですか？

「平成24年経済センサスー活動調査」によると、県内には、約8万の事業所（民営のみ）があることが分かっています。

では、県内の事業所では、どれぐらいの人が働いているのでしょうか。

表1は、県内事業所の従業者数の推移を示したのですが、製造業、医療・福祉等一部の産業を除き、総じて減少傾向であることが分かります。

その後、平成24年12月に誕生した第2次安倍内閣の経済政策、いわゆる「アベノミクス」が打ち出されて以降、雇用環境が改善されていると言われていますが、本年7月1日現在で実施される「平成26年経済センサスー基礎調査 商業統計調査」の結果が待たれるところです。

次に、県内の卸売業・小売業を営む事業所の様子を見てみましょう。

表2は、県内の卸売業・小売業を営む事業所の年間商品販売額の推移を示したのですが、こちらも残念ながら減少傾向となっています。

このような中、昨年12月に日本銀行熊本支店が、「くまモン」が本県にもたらした経済波及効果を1,244億円と試算しました。はたして、この「くまモン」効果が県内事業所の販売額にどれだけ反映されているのか、こちらも気になるところです。

前述した「アベノミクス」の影響、そして「くまモン」による経済波及効果が、本県の経済活動に具体的にどのような効果をもたらしているのか、それを検証するためには、県内の各事業所・企業の実態を知ることが必要になります。その絶好の機会が、本年7月1日現在で実施される、「平成26年経済センサスー基礎調査」及び「平成26年商業統計調査」です。

表1 熊本県内事業所における従業者数の推移（民営事業所のみ）

熊本県	従業者数(人)				
	平成21年 (7月1日現在)	平成24年 (2月1日現在)	増減 (b-a)	増減率 (b-a)/a	構成比
	(a)	(b)			
産業計	717,823	701,614	▲ 16,209	-2.3%	100
農林漁業	9,622	9,229	▲ 393	-4.3%	1
鉱業、採石業、砂利採取業	598	454	▲ 144	-31.7%	0
建設業	59,027	53,260	▲ 5,767	-10.8%	8
製造業	100,541	103,788	3,247	3.1%	15
電気・ガス・熱供給・水道業	1,745	1,790	45	2.5%	0
情報通信業	9,026	9,629	603	6.3%	1
運輸業、郵便業	37,387	34,198	▲ 3,189	-9.3%	5
卸売業、小売業	167,147	152,390	▲ 14,757	-9.7%	22
金融業、保険業	16,541	16,715	174	1.0%	2
不動産業、物品賃貸業	14,911	14,206	▲ 705	-5.0%	2
学術研究、専門・技術サービス業	16,895	15,670	▲ 1,225	-7.8%	2
宿泊業、飲食サービス業	70,931	68,056	▲ 2,875	-4.2%	10
生活関連サービス業、娯楽業	35,512	35,337	▲ 175	-0.5%	5
教育、学習支援業	19,989	19,674	▲ 315	-1.6%	3
医療、福祉	103,573	113,330	9,757	8.6%	16
複合サービス事業	8,984	7,811	▲ 1,173	-15.0%	1
その他サービス業	45,394	46,077	683	1.5%	7

出典：「H24経済センサス活動調査確報(H25.11)」 「H21経済センサス基礎調査確報(H23.6)」

表2 卸売業・小売業における年間商品販売額の推移

	年間商品販売額(百万円)			
	H18.4.1～ H19.3.31	H23.1.1～ H23.12.31	増減	増減率
	(a)	(b)	(b-a)	(b-a)/a
全国計	548,237,119	480,332,792	▲ 67,904,327	-14.1%
熊本県	3,950,340	3,365,885	▲ 584,455	-17.4%

出典：「H24経済センサス活動調査確報(H25.11)」 「H19商業統計調査確報(H21.5)」

平成26年
7月1日
(火)

平成26年 経済センサスー基礎調査 商業統計調査

～日本経済の「今」を知るための調査です～

Q. 調査の目的は？

A. 「経済センサスー基礎調査」は、我が国の事業所・企業の基本的構造を明らかにするとともに、各種統計調査の母集団情報の整備を図ることを目的として実施します。

「商業統計調査」は、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的として実施します。

両調査は、調査対象となる事業所及び企業における報告負担の軽減、効率的かつ円滑な調査の実施等の観点から、一体的に実施されることとなりました。

Q. 調査対象は？

A. 「経済センサスー基礎調査」→全国すべての事業所及び企業（農林漁業を営む個人経営事業所等を除く）

「商業統計調査」→卸売業・小売業を営む全国すべての事業所及び企業



日本経済の力になる！

あなたの回答が、

平成26年
7月1日
(火)

経済センサスー基礎調査
商業統計調査

オンライン回答も
できます。

◎全国すべての事業所、企業が対象となります。
◎調査票は平成26年6月末を目処にお届けします。7月1日以降に届出をお願いします。
◎統計法に基づき調査票に記入して提出する義務があります。◎調査に際すすべての情報は保護されます。

経済センサス 商業統計調査 <http://e-census-syogyo.stat.go.jp/>

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです

Q. 調査方法は？

A. 調査票による調査（調査員による配布、回収）のほかに、オンライン（インターネット）による回答もできます（新規事業所を除く）。

Q. 調査結果はどのように活用される？

A. 調査の結果は、国及び地方公共団体における行政施策の立案や、民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く利用されます。

平成26年経済センサスー基礎調査及び商業統計調査のキャンペーンサイトが開設されています。両調査について、さらに詳しく知りたい方は、下記URLをクリック！

<http://e-census-syogyo.stat.go.jp/>

平成26年経済センサスー基礎調査 商業統計調査

検索

調査へのご協力をよろしくお願いします！

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、3月28日（金曜日）に掲載予定です。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成26年3月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

か、「花粉」だ!!



今年の冬は、全国的な大雪もありかなり寒かったようですが、3月に入ってから暖かい日差しを感じられる日も多くなりました。桜もそろそろ満開になっている頃でしょうか。

春といえば、新しい生活が始まる人も多く明るい感じの季節ですが、花粉症の人にはとてもつらい季節でもあります。そこで、今回の統計アラカルトでは花粉について調べてみます。

環境省では、スギ・ヒノキの花粉飛散量の予測を行っています。どのように予測しているのでしょうか？

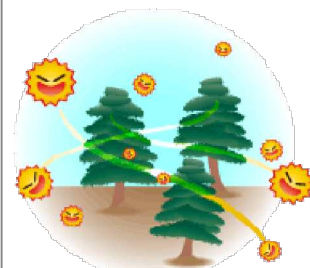
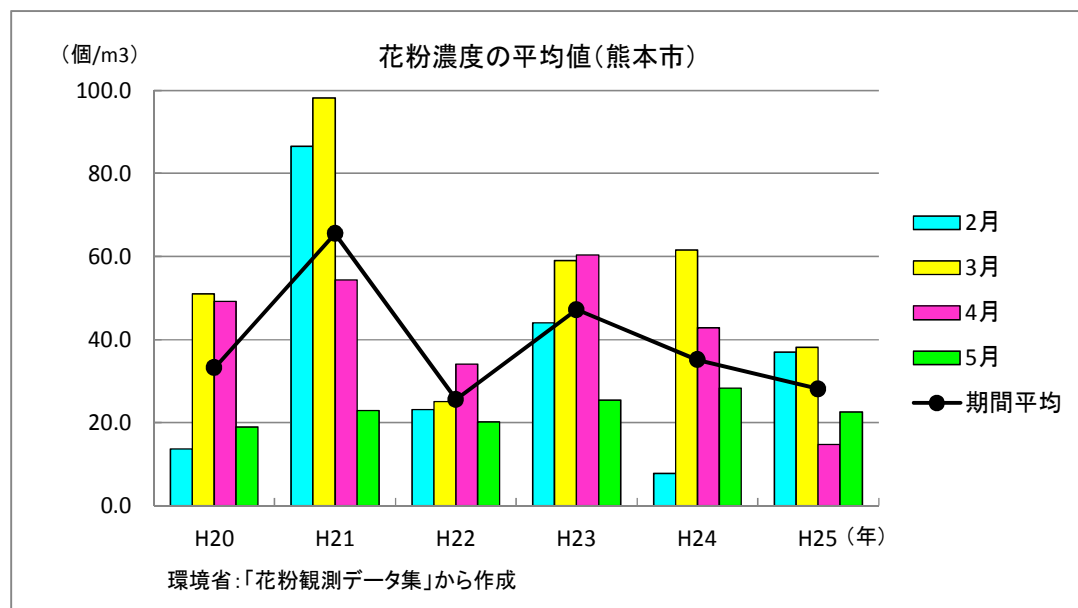
スギ・ヒノキの花粉飛散量は、前年の夏、特に7月上旬から8月中旬の日照時間や気温、降水量等に影響を受けます。また、大量飛散年の翌年はスギ雄花の着花量が減少し、花粉飛散量も減少する傾向があります。そこで、前年夏の気象条件、前年の花粉飛散量などから、当年の花粉飛散量を予測しているとのこと。

今年の熊本の花粉飛散量はどうでしょうか？

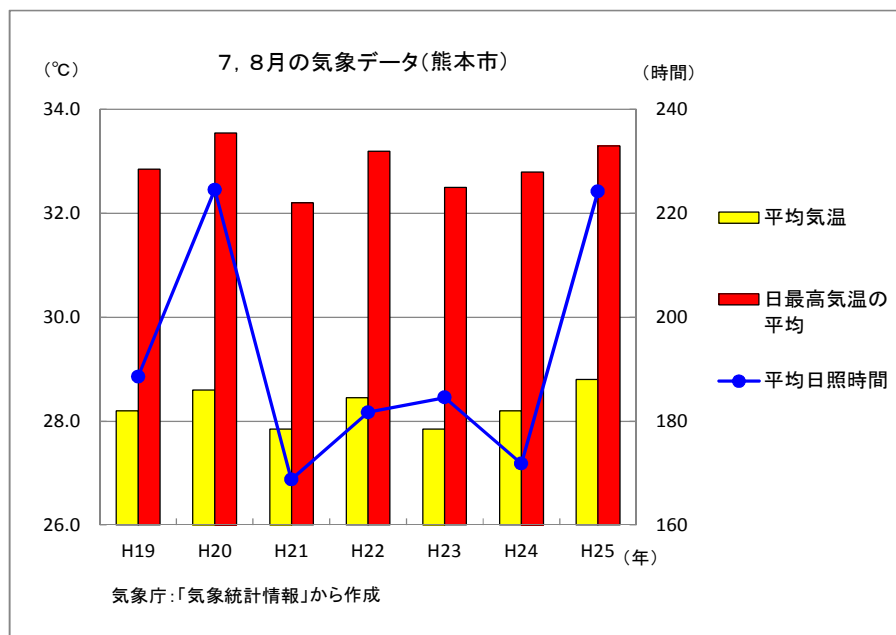
環境省の報道発表資料によると、熊本市の今年の花粉のピークは2月下旬、花粉飛散量(スギ・ヒノキ)は昨年よりやや少ない(前年比79%)との予測であり、ほぼ平年並みと考えていいようです。

それでは、前年夏の気象条件と今年の花粉飛散量はどのような関係になっているのでしょうか？

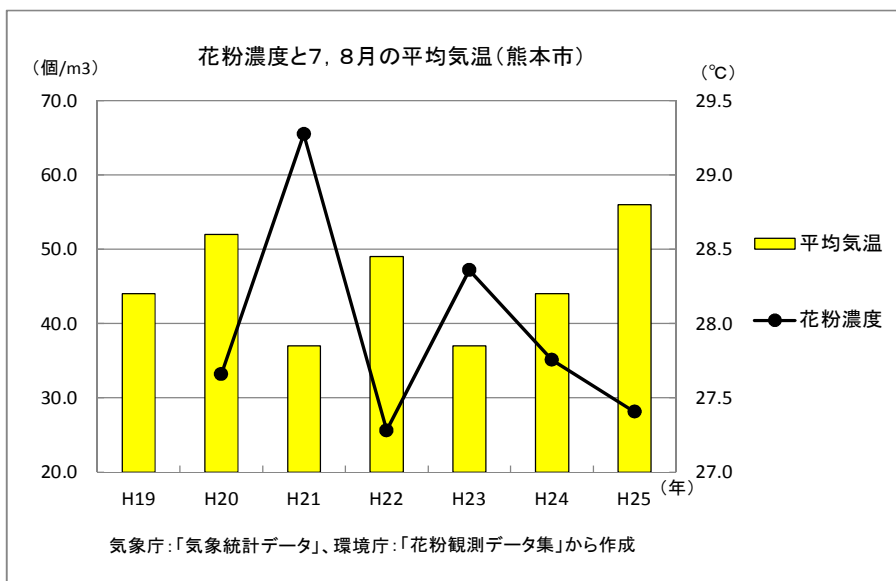
今年はまだ花粉のシーズンが終わっていませんので、過去のデータを見てみましょう。下のグラフは、平成20年から平成25年までの熊本市における「花粉濃度の平均値」です。平成21年は花粉濃度の平均値が高い＝花粉の飛散量が多いことが分かります。



次のグラフは、平成 19 年から平成 25 年までの熊本市における7, 8月の「平均気温」、「日最高気温の平均」、「平均日照時間」です。一部例外もありますが、平均日照時間が長い年は、平均気温、日最高気温の平均も高い傾向にあることが分かります。



次は、平均気温(7, 8月)と花粉濃度(2~5月の平均)をグラフで表したものです。



グラフを見ると、平均気温が高い年の翌年は、花粉量が多い傾向にあるようです。平成 25 年は平均気温が高かったため、平成 26 年の花粉量は多いという予想ができますが、環境省の予測では、平成 26 年の熊本市の花粉量はほぼ平年並み…。前述したように花粉飛散量は、前年の平均気温だけではなく日照時間、降水量や前年花粉飛散量なども影響することから、平均気温だけで完全な予測はできませんが、参考程度にはなるのではないのでしょうか？

今年の夏が猛暑だった場合、花粉症の人は来年の花粉対策を十分に行った方がいいかもしれませんね。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、4月25日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp